



「環境白書」の発刊にあたって

三重県知事

北川 正 恭

従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会の営みは、急速に環境負荷を増大させ、地球規模での環境問題は、人類の将来に暗い影を落としています。私たちは、過去から受け継いだ命を安心して未来に引き継いでいける環境にやさしい社会をつくっていかねばなりません。

「環境の世紀」とされる21世紀においては、産業活動も、私たちの生活も、資源循環型へと切り替えることが余儀なくされています。これに呼応して、環境への負荷の少ない、資源の循環を基調とした社会システムの構築を進めるため、「環境配慮が経済的価値の創造へ、経済的価値の追求が環境配慮へ」という「環境経営」の考え方を基本として、三重県の環境政策を推進してきています。

環境にやさしい社会をつくるためには、意識改革、ライフスタイルの変更、新たな環境ビジネスの創出といった取組が必要になっています。このような取組が実を結ぶためには、三重県に住む人、三重県で活動する人すべての人が協働・連携して、環境にやさしい行動を行うことが重要です。

たとえば、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出抑制がクローズアップされていますが、家族が同じ部屋で団らんすることにより、空調や照明の利用を減らすことでも大きな効果があります。

また、地域の緑化活動や、身近な自然環境を守り育てる活動は、はじめは小さな取組でも、こつこつ続けていくことにより、いつかはきっと大きな波になると信じています。

県民、企業、市町村のみなさん、私たちとともに、「次世代に誇れる三重の環境づくり」に取り組んで、三重県を名実ともに環境先進県としていきましょう。

この白書は、平成13年（2001）年度の三重県の環境の状況と、環境先進県づくりの取組を中心にまとめています。皆様の環境行動の高まりにつながれば幸いです。